

第5回ワークショップ  
(番外編 23.11.5)

# 日本一の里山にて 川西の未来を語る



11月5日(土)、総合計画策定に向けた「川西まちづくりワークショップ」の番外編として、庁舎でのワークという形から離れ、川西市が誇る「日本一の里山」の自然の中で、ざっくばらんな意見交換を行いました。

会場となった黒川公民館(旧黒川小学校)は、明治37年建築の瓦葺屋根や板張りの廊下が今も残る風情あふれる木造校舎であり、兵庫県指定景観形成重要建造物に指定されています。

参加者の方々は、主に川西産の食材を用いて開発し、販路開拓中の「屯食弁当」や、手作りの豚汁、焼き芋などに舌鼓を打ちながら、4回のワークショップで言い足りなかったことや、川西の将来について議論に花を咲かせていました。

この番外編を含めた「まちづくりワークショップ」等の経過は、平成24年1月号の広報かわにしに特集として掲載する予定です。ぜひご覧ください。

黒川ファームで採れた野菜

黒川ファームの存在を知らなかった参加者も、新鮮な野菜を手購入しながら、「今後はゆっくり来ます！」と笑顔に。



ダリヤ園を見学



本来は開園期間が11月3日までであったダリヤ園も、地元のご厚意で、鑑賞させていただきました。今年は350品種・1,300株が咲き誇るダリヤが私たちの目を楽しませてくれました。

里山料理を楽しみながらフリートーク

大阪青山大学と連携して開発・販路開拓中の「屯食弁当」や、黒川で採れたばかりの焼き芋などを食べながら自由に意見交換を行いました。地元ならではの味に舌鼓を打ちつつ、それぞれの思いをお話いただきました。皆さんご満足いただけたでしょうか。



川西の未来を託したワークショップ、これにて全て終了です。ご協力ありがとうございました。